

2年

学級目標：レアスター

- ・ 学習をがんばる子(知育)①
- ・ 元気で明るく挨拶ができる子(徳育)②
- ・ 友達にやさしく接することができる子(徳育)③
- ・ 仲間と協力して取り組むことができる子(徳育)④
- ・ 何事にも頑張ることができる子(体育)⑤



経営方針

- ① 友達の話を最後までよく聞いてから、自分の意見を発表させる。
- ② 相手の目を見てあいさつを伝えることや、名前を呼ばれたら大きな声で返事ができるよう絶えず声かけをしていく。
- ③ 周りの友達が困っていたり、間違っていたりしたときは、優しく声をかけるように促し、必要なときは、優しい言葉での伝え方を教える。
- ④ 集団で行動していることを意識させ、こんなときはどうするか、何をするかを具体的に知らせる。また、周りの仲間のために、行動することの良さを感じさせる。
- ⑤ 何事にも全力を尽くすことの大切さを知らせ、児童の頑張りを称賛し、自信とやる気をもたせ、主体的に活動しようとする態度を育てる。

各教科

- ・ 空書きや書き順ごとに板書の色を変えたりして、漢字の正しい筆順や字形を身に付けさせる。
- ・ 音読学習では、語句のまとまりを意識しながら、話す相手を考えたり、気持ちを込めて読んだりする練習をする。
- ・ 具体物・半具体物の操作を積極的に取り入れ、体験的に学習内容を身に付けられるよう工夫する。
- ・ 歌やリズムで覚えたり、百マス計算を用いたりして、九九の習得を図る。
- ・ 対話的活動を取り入れ、友達と考えを伝え合うことで、学びを深めることができるようにする。
- ・ 野菜の栽培、観察や製作など、活動や体験を言葉や絵、動作化や劇化など、様々な方法で表現し、伝えることができるようにする。
- ・ 簡単なリズム楽器の演奏に慣れ、身体表現や器楽合奏を楽しみながら、リズム感を育てる。
- ・ 基本の運動やゲームを通し、誰とでも仲良く、安全に留意して取り組む態度を育てる。

学級活動・生徒指導

【学級活動】

- ・ 一人一人に役割をもたせ、自主的な活動を促し、互いを認め合う雰囲気を作ることで、楽しい学校生活を送ることができるようにする。また、よいと思った行動は進んで取り組むことができるように支援する。
- ・ 時間を見て行動することや今何をすべき時間なのか児童に声掛けをし、一人一人が考えて行動する力を養う。
- ・ 互いのよさを認めあう活動を帰りの会や活動の振り返りで取り入れ、自己肯定感を高める。
- ・ きまりを守ることや、健康や安全に気を付けることの大切さに気付けるようにする。また、自分のことは自分でできるように基本的な生活習慣を身に付けさせる。

【生徒指導】

- ・ 自他を傷つける行為は絶対に行ってはならず、自分の行為を常に省みるよう指導する。
- ・ トラブルの未然防止・早期発見を心がけ、互いが納得して解決できるように努める。